

## 第 173 回 BA エグゼクティブサロン概要 (11/22)

**テーマ：「超少子高齢社会の介護とテクノロジー、その視点」**

**講演者：小林 宏気 氏 (こばやし ひろき)**

東京未来大学福祉保育専門学校 介護福祉科 非常勤講師

東京都立産業技術高等専門学校 医療福祉工学コース 非常勤講師

### **卓話概要：**

日本における介護の人手不足は大きな社会課題になってきています。今回はテクノロジー活用の視点を3つお伝えできればと思います。

まず、「高齢者の変化」です。これからの高齢者（介護サービスのユーザ）の特性を踏まえる必要があるのではないのでしょうか。

次に、「他者の目」です。施設介護には「他者の目が多すぎる問題」が、在宅介護には「他者の目が少なすぎる問題」が存在していると考えます。テクノロジーは何を解決するのか。

最後に、「教育」です。さまざまなテクノロジーが開発されても、それを使いこなすことができなければ、効果を発揮することはありません。これらについて、介護の基本や具体的な事例をもとに、みなさまと考える時間になればと思います。



### **略歴：**

オットボックジャパン(株)、川村義肢(株)、(株)オーテックジャパン、(学)帝京大学、(社福)善光会・サンタフェ総合研究所、千葉大学等を経て、現在、テクノエイド協会福祉用具プランナー管理指導者養成コース・講師、ICT介護教育研究会・世話人、一般社団法人ワイズ住環境研究所・理事、主体的学び研究所・フェロー、株式会社シード・プランニング・顧問等を兼務。

博士（保健医療学）+ 4 修士（工学・経営情報学・保健医療学・芸術）